【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【公開番号】特開2019-118577(P2019-118577A)
【公開日】令和1年7月22日(2019.7.22)
【年通号数】公開・登録公報2019-029
【出願番号】特願2017-254989(P2017-254989)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/47　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/56　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/532　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/474　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　13/47　３００
Ａ６１Ｆ　13/56　１１０
Ａ６１Ｆ　13/532　２００
Ａ６１Ｆ　13/474

【手続補正書】
【提出日】令和1年7月31日(2019.7.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前後方向と、
前記前後方向に直交する幅方向と、
着用者の肌側に向けられる表面シートと、
前記着用者の肌とは反対側に向けられる裏面シートと、
前記前後方向の中心を含む本体部と、
少なくとも前記本体部における前記裏面シートの非肌面側に設けられた本体粘着部と、
前記本体部の肌面側に折り畳まれ、前記本体部よりも前方又は後方に延出可能な延出可能部と、を有する、吸収性物品。
【請求項２】
前記本体部と前記延出可能部とを仮止めする仮止め部を有する、請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項３】
前記吸収性物品は、
前記幅方向に沿って延び、前記表面シートが向かい合うように前記吸収性物品を折り返す第１折り部と、
前記幅方向に沿って延び、前記裏面シートが向かい合うように前記吸収性物品を折り返す第２折り部と、
を有し、
前記第２折り部は、前記延出可能部の延出状態において前記第１折り部よりも前記吸収性物品の前記前後方向における中心から遠い方に位置し、
前記延出可能部は、
前記第１折り部と前記第２折り部との間の第１部分と、

前記延出可能部の非延出状態において前記第１部分の肌面側に位置し、前記第２折り部よりも前記吸収性物品の前記前後方向の中心から遠い第２部分と、を含む、請求項１又は２に記載の吸収性物品。

【請求項４】

前記前後方向における前記第２部分の長さは、前記前後方向における前記第１部分の長さよりも長い、請求項３に記載の吸収性物品。

【請求項５】

前記第２部分のうち、少なくとも前記延出可能部の前記非延出状態において前記第１部分よりも前方又は後方に突出する部分は、前記本体部とは異なる触感を有する、請求項４に記載の吸収性物品。

【請求項６】

前記第１部分と厚み方向に重複する前記本体部の前記幅方向における幅は、前記第１部分の前記幅方向における幅よりも長い請求項３から５のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項７】

前記第１部分の前記幅方向における幅は、前記第２部分の前記幅方向における幅よりも長い、請求項３から６のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項８】

前記表面シートと前記裏面シートとの間に、液体を吸収可能な吸収材料を含む吸収コアを有し、

前記第１折り部と前記第２折り部の少なくとも一方に沿って前記吸収材料が存在しない領域、又は前記吸収材料の目付が低い領域が延びている、請求項３から７のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項９】

前記本体粘着部の少なくとも一部は、前記延出可能部の前記非延出状態において、前記第１折り部と前記第２折り部との間の領域と厚み方向に重なる領域に設けられている、請求項３から８のいずれか１項に記載の吸収性物品。